

2045年の国内観光産業における 年代別消費動向に関する分析

石井太研究会

慶應義塾大学 経済学部 経済学科 4年 23組

学籍番号：21805233

小澤 亮太

概要

本研究は、日本国内における観光産業について国内旅行者の年代ごとの人口データを分析し、それらの傾向について考察することを目的とする。

また、将来の日本の観光産業や日本経済における課題とその解決策を人口学的観点から論じる。本論文において、考察の際に新型コロナウイルス流行の影響については考慮しないものとするため、2020年～2021年の関連データは考慮しないものとし、2010年～2019年までの10年間の旅行・観光消費が継続するものと仮定し、国土交通省観光庁の旅行・観光消費動向調査の調査拡充後の2010年から2019年までのデータを収集対象とした。

また、国立社会保障・人口問題研究所（2018）の日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）の2045年の推計人口のデータと国土交通省観光庁（2011, 2020）旅行・観光消費動向調査のデータとを用い、2045年時点での国内旅行者の消費額を考察した。

目次

概要	2
目次	3
研究背景・目的	4
先行研究	6
データ・分析方法	7
結果・考察	9
結論	16
参考文献	17
図表	18

研究背景・目的

本研究は、日本国内における観光産業について国内旅行者の年代のデータを分析し、それらの傾向について考察することを目的とする。

また、将来の日本の観光産業や日本経済における課題とその解決策を人口学的観点から論じる。本論文において、考察の際に新型コロナウイルス流行の影響については考慮しないものとする。

国立社会保障・人口問題研究所（2017）の将来人口推計によると、日本の人口減少は以前より緩やかになっているものの今後依然として大きく減少することが見込まれている。また、出生数の減少も今後も続く見込まれ、少子高齢化の同時進行も予測される。

年代別人口規模と構成が変化していくことで、将来的に国内の旅行・観光における消費額に変化が生じるものと考えられる。この仮定のもとに分析を行い、将来の国内旅行・観光産業における課題を人口学の観点から提起し、分析と考察によってその影響と改善策を提案する。

過去のデータ分析だけでなく、2045年のデータでも分析を行うことによって今後の研究で旅行先での消費行動に影響を与え得るより様々な要因を含んだ時系列分析を行う上で非常に有意義なものになると考えた。そして、これらを通して年齢別の消費額の

推移について研究行い、人口構成と国内旅行・観光消費動向の相関性、国内旅行・観光者の居住地と消費動向の相関性の二つを明らかにすることにより、日本における将来の観光産業の課題点を提示し、人口学の視点から具体的な解決策についても検討していきたい。

先行研究

前述の通り、本研究では、年代ごとの年代別消費額の違いに着目した分析を行う。

そこで、以下年代別人口構成比が観光消費額に与える影響、旅行者数・観光消費額の将来予測について述べた先行研究を参考にした。

年代別人口構成比が観光消費額に与える影響

掛江（2015）では、国内マーケットにおける高齢層の重要性について研究している。年齢によって消費額は異なるので年代別で見る必要がある。また、特に高齢者層においては、消費額変動に寄与する要因が大きいことについても述べられている。

旅行者数・観光消費額の将来予測

国土交通省観光庁（2014）では、2014年時点での2020年までの国内延べ国内旅行者数及び国内旅行消費額の推移が予想されている。

グラフによると、2020年まで国内延べ国内旅行者数、国内旅行消費額ともに減少傾向となる。これらの値は、2010年～2012年は旅行・観光消費動向調査(国土交通省観光庁)の調査結果より算出したもの、2013年は同調査の1～6月の確定値及び7～12月の予測値を合計して算出。2014年以降は、2013年の値及び日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)のデータの値の変化率に基づいて算出している。

データ・分析方法

(1) データ

人口推計については、年代別人口を World Population Prospects 2019 及び国立社会保障・人口問題研究所（2018）から年代別将来推計人口のデータを、国内旅行・観光の消費動向のデータを国土交通省観光庁（2011,2019）から収集した。

また、本論文では、考察の際に新型コロナウイルス流行の影響を除外するため、国土交通省観光庁旅行・観光消費動向調査の調査拡充後の 2010 年～2019 年までのデータを収集対象とした。

(2) 分析方法

国土交通省観光庁 観光消費動向調査より、2010 年～2019 年の延べ年代別の旅行者数と、World Population Prospects 2019 の 2010 年～2019 年の年代別の人口推計データを用い、年代毎の人口推計と延べ国内旅行者数との相関性を検証するため、単回帰分析を行った。

単回帰分析の検証結果をもとに、線形近似曲線の傾きより、2045 年時点での各年代別の延べ国内旅行者数を推計した。

ただし、旅行者数は、各年代別人口推計のほか、計量時点での経済情勢、可処分所得、

保有金融資産およびその他資産背景、Go To トラベル等に代表される臨時的な経済対策に大きく影響を受け変動することが考えられ、人口推計と延べ国内旅行者数との相関性が低くなることを想定される。このため年代別人口推計において延べ国内旅行者数との相関性が比較的高い年代を抽出し、2045年時点の延べ国内旅行者数を算出する数式を、年代別人口推計を説明変数とする重回帰分析を用い回帰式の導出を試みた。

また、本研究では、旅行・観光消費額は、人口推移による影響のみを検証の対象とした。将来的な景気動向、個人可処分所得経済変動に伴う物価上昇等は考慮せず、2010~2019年までの各年代別の旅行単価平均額が2045年まで不変である仮定し、上記分析にて推計した2045年の年代別の延べ国内旅行者数に乗じることによって、2045年における日本国内の旅行・観光消費額を算出した。

結果・考察

(1) 「年代別人口推計」と「延べ国内旅行者数」との相関性

今回検証対象期間である 2010 年～2019 年の年代別の「延べ国内旅行者数」は表 1 の通り。2010 年～2019 年の「年代別人口推計」は表 2 - 1 の通りである。

また、World Population Prospects 2019 によると、2020 年～2045 年までの日本の「年代別人口推計」は表 2 - 2 の推移が見込まれている。

ここでは、「年代別の人口推計と延べ国内旅行者数とは相関しない」という仮説（帰無仮説）について検証し、総人口ピークとなった 2010 年から 2019 年までの 10 年間における年代別人口推計と国内旅行者数との相関性を確認する。

表 3～表 11 にかけて、「年代別人口推計」と「延べ国内旅行者数」との相関関係の検証を単回帰分析で行った結果、図 1～図 10 の通りとなる。本検証では回帰式の決定係数 R^2 (0.5 以上を有効とみなす) から判断し、30 代以外の各年代において人口推計と延べ国内旅行者数との間で有効な相関関係は認められなかった。

また、図 1-2～図 10-2 の通り、当該検証期間における延べ旅行者推移のトレンドを確認するため、各年次と延べ国内旅行者数との間においても単回帰分析を行ったが、人口減少局面延べ国内旅行者が増加し逆相関となっている年代 (10 代、50 代) あり、人口推移を要因とした延べ国内旅行者の推移の傾向を見極めることができなかった。

要因として考えられることは以下のとおり。

- ・国内人口は、高齢世代を除き各年代とも減少傾向にあるものの、延べ国内旅行者数は、その年の景気動向、年代毎の所得、嗜好の変化等の要因により大きく変動する。
- ・2010年～2019年までの10年間のデータでは人口推計との相関性を論じるにあたり、総人口のピークを迎えた直後で人口減少傾向の明確なトレンドを形成するには短期であること、また有意なデータ個数が少なく、一部の異常値データの影響を受けやすいこと

が挙げられる。

30代のみ有効な相関性が認められたが、これは、30代はビジネス需要による出張が多く、政府による観光景気対策、連休有無等の特殊要因による異常値が発生しにくいため、他の年代と比較し、延べ国内旅行者数において安定した減少トレンドを描けたためと考えられる。

2010年～2019年における年代別人口推計と延べ国内旅行者との単回帰分析では、有効な相関関係は見出せなかったが、本分析の過程で算出した回帰式をもとに各年代の回帰式をもとに試算した2045年時点での各年代の延べ国内旅行者数総計は6億6千万人程度となり、元々、相関性のない回帰式をもとに算出したこともあり、2019年における延べ国内旅行者の実数値を大きく上回る形となった。（表12）

(2) 人口推計変化率と延べ国内旅行者数変化率との相関性

(1) の考察より、単回帰、重回帰による分析において、2010 年～2019 年までの 10 年間の人口推計と延べ国内旅行者数には有効な相関関係が認められなかった。しかしながら、過去に発表された内閣府発表の資料では、人口増加と家計最終消費支出額との間では、相関関係にあるとされ、80～90 年及び 96～2008 年の期間では傾向線が有意に求められ、決定係数（自由度修正済）もともに 0.72 と高く、人口の増加と消費の伸びには強い正の相関があることが示されている。

この点を踏まえると、人口及び人口構成の変化は、消費の動向に影響を与え、家計最終消費支出額の消費活動指数品目にカウントされている旅行関連費用についても少なからず影響があると考えるのが妥当である。これに従えば、人口が減少した場合、その分だけ消費主体が減少するため、消費額自体が減少すれば、旅行者数にマイナスの影響（正の相関）を与えるものと判断するのが妥当である。

図 10 の通り、内閣府データでは、地域別の人口増減と可処分所得の間にはある程度の相関関係があり、旅行者数に対しても少なからず影響を与えていることは想像に難くない。

そこで、各年代における 2010 年～2019 年までの人口増減率と延べ国内旅行者数増減率との相関性について単回帰による検証を行った。

検証結果は図 11 の通りで、人口推計と延べ国内旅行者数との相関性を示す回帰式は

以下の通り。

(回帰式①)

$$Y = 0.8139x + 0.001 \quad (R^2 = 0.607)$$

説明変数 (x) = 2010年基準での人口増減率

目的変数 (Y) = 延べ国内旅行者数増減率

決定係数 (R²) = 0.5 を上回り、現実に即した関係式であると考えられる。

上記回帰式を用いることで2020年以降の推定延べ国内旅行者数は、表16、図12の通り。

<2045年時点における延べ国内旅行者数>

前述の回帰式を用い算出した2045年時点における推定延べ国内旅行者数は表17～26の通り。

この結果、日本全体での延べ国内旅行者数は2010年～2045年までの35年間で、約6億3千万人から5億2千万人と約1億1千万人程度の減少が見込まれる。(表27)

2019年時点での延べ国内旅行者は5億9千人程度であったことを踏まえると、減少

幅が小さいように考えられる。

これには以下の要因が考えられる。

- ・ 検証期間が、リーマンショック、震災後の景況停滞期である2010年から、オリンピック開催を控えた2019年までであり、個人消費が上向き傾向であった期間に該当し、景気拡大トレンドにおいて回帰分析を行っていること。
- ・ 検証期間が日本国内金融市場における金融緩和により金融資産の拡大期に該当し、企業及び個人における延べ国内旅行者数の増加に追い風となった実績値を用い検証を行っていること。

実態としては、新型コロナウイルス感染症の流行により、国内旅行者数は2019年の5億9千万人から2億9千万人と約半分以下にまで落ち込んでおり、今後、コロナウイルス感染症が沈静化した後も、数年間は、外出控え、インドアでの娯楽拡大の影響を受け、当面、延べ国内旅行者の実績値が上記分析値を上回ることはないものと思料する。

<2045年における旅行・観光消費額>

2010年から2019年までの国内景況観において、それほど変化がないという前提において、1旅行者あたりの消費金額を、各年代別の2010~2019年までの旅行単価平均

額（表 2 7）とし、2045 年まで不変であると仮定し計算すると、2045 年時点での国内旅行消費額は、おおよそ 17 兆 6 千億円と推計できる（表 2 8）。

2010 年時点での国内旅行消費額では 20 兆 4 千億円であったことから、おおよそ 2 兆 8 千億円の減少と推計される。

<高齢者増加による旅行・観光消費額に与える影響>

国立社会保障・人口問題研究所（2017）の日本の将来推計人口のデータが示す通り、今後、確実な人口減少の一方、超高齢化社会に突入し高齢者人口が激増することから、高齢者の嗜好する寺社、名刹等の見物、温泉等を目的とした旅行者は当世代の人口推計に相関し、延べ国内旅行者数、消費額は維持、増加する可能性があると思料する。

しかしながら、表 2 9 の 2010 年～2019 年までの各年代における人口増減と延べ国内旅行者数をもとに作成した図 1 3 からは、人口が増加した年代の国内延べ旅行者の増加割合よりも、人口が減少した年代の延べ国内旅行者の減少による割合割合のほうが大きい傾向となっており、高齢者人口の増加は、延べ国内旅行者数を引き上げ要因になる可能性は高いものの、全年代における延べ国内旅行者数は減少する傾向にあるといえる。

また、本論文で推計した 2045 年時点における年代別の旅行・観光消費額は、サラリーマン層の退職時期に当たる 60 代をピークに、70 代、80 歳以上に向け減少す

る形となり、70歳以上の旅行者増加の寄与率は他の年代対比プラスに寄与するものの、消費額で見た場合は30代～60代よりも小さく、新型コロナウイルス感染症の影響が収まったとしても、将来的な旅行・観光消費額は減少することが確実であるといえる。

結論

結果・検証より、2010年～2019年までの10年間の人口推計との延べ国内旅行者との相関性をもとにし検証した結果、検証期間の景況感が今後も持続し続ける仮定において、2045年時点における延べ国内旅行者は5億2千万人程度と推定される。

また、1旅行者あたりの消費金額を、各年代別の2010～2019年までの旅行単価平均額とし、2045年まで不変であると仮定し計算すると、2045年時点での国内旅行消費額は、おおよそ17兆6千億円と推計できる。

2010年時点での国内旅行消費額では20兆4千億円であったことから、おおよそ2兆8千億円の減少と推計される。

実際には、新型コロナウイルス感染症の影響で旅行・観光消費額はピーク時から半減しており、新型コロナウイルス感染症が収束時において、反動として、一時的に旅行・観光消費が回復する可能性はあるが、個人消費者のマインドの冷え込み、ライフスタイルにおけるインド志向の定着、企業のDXシフトにより、2045年時点において、本論文の検証結果以上の延べ国内旅行者、旅行・観光消費額を超えることは厳しいものと思料する。

参考文献

- ・国土交通省 「観光庁、旅行・観光消費動向調査」 2010年～2019年1～12月期（確報）
- ・国立社会保障・人口問題研究所（2018）日本の地域別将来推計人口
- ・United Nations（2019） World Population Prospects 2019
- ・内閣府 「経済財政政策 第3章 第3節 消費の推移と高齢化」
(<https://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr11/chr11030300.html>)

图 表

(表1)

基本旅行者数(年代別)

(単位:1,000)

	9歳以下		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80歳以上		年代別合計
	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	数	比率	
2010	45,274	7.2%	36,313	5.7%	76,670	12.1%	112,919	17.9%	98,494	15.6%	92,814	14.7%	104,080	16.5%	50,075	7.9%	14,958	2.4%	631,597
2011	50,774	8.3%	37,645	6.1%	69,115	11.3%	102,950	16.8%	100,335	16.4%	87,396	14.3%	92,492	15.1%	52,866	8.6%	18,950	3.1%	612,523
2012	51,243	8.4%	37,018	6.0%	68,138	11.1%	99,945	16.3%	104,086	17.0%	91,637	15.0%	93,518	15.3%	52,920	8.6%	14,245	2.3%	612,750
2013	50,702	8.0%	40,279	6.4%	67,116	10.6%	92,280	14.6%	106,686	16.8%	93,938	14.9%	103,753	16.4%	58,993	9.3%	17,204	2.7%	630,951
2014	46,476	7.8%	39,959	6.7%	68,617	11.5%	84,375	14.2%	102,631	17.2%	94,232	15.8%	86,901	14.6%	57,778	9.7%	14,252	2.4%	595,221
2015	47,903	7.9%	36,435	6.0%	71,974	11.9%	89,396	14.8%	102,501	17.0%	98,371	16.3%	87,664	14.5%	54,027	8.9%	16,444	2.7%	604,715
2016	50,478	7.9%	38,171	6.0%	72,494	11.3%	92,933	14.5%	112,011	17.5%	98,284	15.3%	96,691	15.1%	59,918	9.3%	20,099	3.1%	641,079
2017	47,050	7.3%	37,939	5.9%	69,441	10.7%	98,324	15.2%	109,692	16.9%	102,738	15.9%	98,141	15.2%	63,020	9.7%	21,164	3.3%	647,509
2018	49,795	8.9%	40,381	7.2%	62,722	11.2%	68,553	12.2%	91,809	16.3%	92,642	16.5%	83,078	14.8%	55,372	9.9%	17,427	3.1%	561,779
2019	47,714	8.1%	42,981	7.3%	72,203	12.3%	80,861	13.8%	95,248	16.2%	90,336	15.4%	79,953	13.6%	57,499	9.8%	20,306	3.5%	587,101

出典:国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(随報) データ抜粋

(表2-1)

年代別人口推計(2010年~2019年)

(単位:1,000)

	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	総人口
2010	11,219	12,070	14,328	18,498	16,816	16,674	18,205	12,761	7,971	128,542
2011	11,189	11,976	14,028	18,122	17,204	16,275	18,438	12,924	8,343	128,499
2012	11,152	11,894	13,721	17,640	17,654	15,985	18,585	13,097	8,697	128,425
2013	11,105	11,814	13,420	17,098	18,110	15,797	18,623	13,305	9,042	128,314
2014	11,044	11,734	13,140	16,566	18,498	15,690	18,533	13,587	9,377	128,169
2015	10,955	11,650	12,895	16,089	18,768	15,651	18,304	13,963	9,710	127,985
2016	10,860	11,576	12,698	15,678	18,934	15,683	17,925	14,353	10,058	127,765
2017	10,719	11,497	12,533	15,337	18,990	15,790	17,421	14,833	10,385	127,505
2018	10,546	11,415	12,394	15,048	18,928	15,970	16,854	15,346	10,701	127,202
2019	10,364	11,338	12,268	14,763	18,754	16,224	16,318	15,814	11,019	126,862

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋

(表2-2)

年代別人口推計(2020年~2045年)

(単位:1,000)

	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	総人口
2020	10,180	11,267	12,147	14,455	18,473	16,542	15,875	16,185	11,351	126,476
2025	9,187	11,000	11,726	13,024	16,096	18,482	14,980	16,386	13,095	123,976
2030	8,648	10,215	11,382	12,217	14,458	18,178	15,870	14,318	15,471	120,758
2035	8,451	9,221	11,134	11,812	12,993	15,844	17,769	13,632	16,310	117,166
2040	8,385	8,684	10,355	11,476	12,200	14,252	17,504	14,549	15,950	113,356
2045	8,292	8,487	9,364	11,232	11,804	12,826	15,304	16,404	15,817	109,529

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋

(表3-1) 9歳以下 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	11219	45,274
2011	11189	50,774
2012	11152	51,243
2013	11105	50,702
2014	11044	46,476
2015	10955	47,903
2016	10860	50,478
2017	10719	47,050
2018	10546	49,795
2019	10364	47,714

(表3-2) 9歳以下 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
-855	2.44%	-7.6%	5.4%

筆者作成(2022)

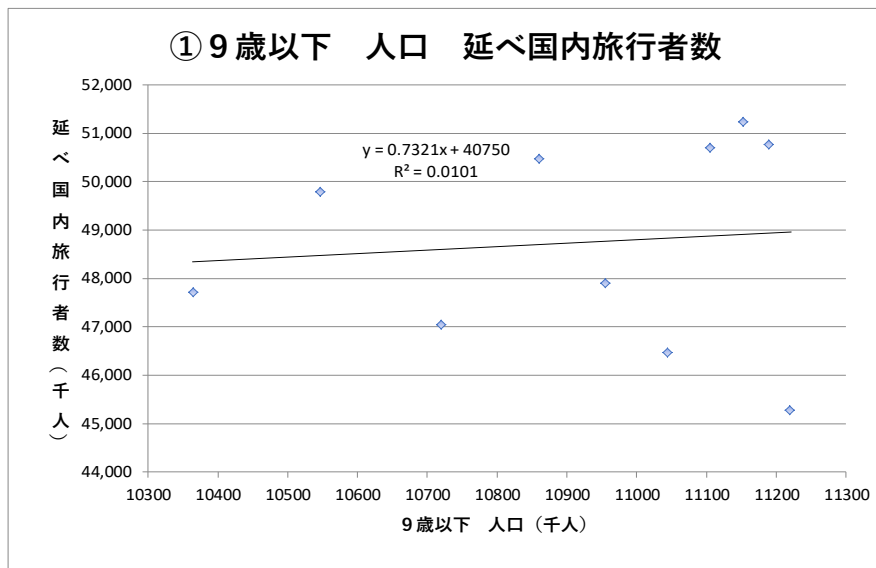
(表3-3) 9歳以下 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

傾き	0.7321
予測変数(2045年 人口推計)	8,292
切片	40,750
目的変数(延べ旅行者数)	46,821

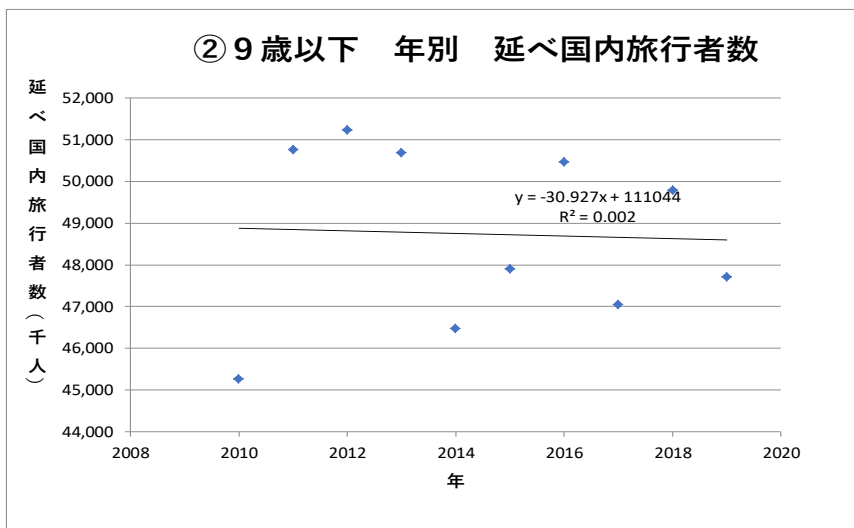
筆者作成(2022)

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図1-1)



(図1-2)



(表4-1)
10代 人口推計-延べ国内旅行者数 推移

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	12070	36,313
2011	11976	37,645
2012	11894	37,018
2013	11814	40,279
2014	11734	39,959
2015	11650	36,435
2016	11576	38,171
2017	11497	37,939
2018	11415	40,381
2019	11338	42,981

(表4-2)
10代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
-732	6.668	-6.1%	18.4%

筆者作成(2022)

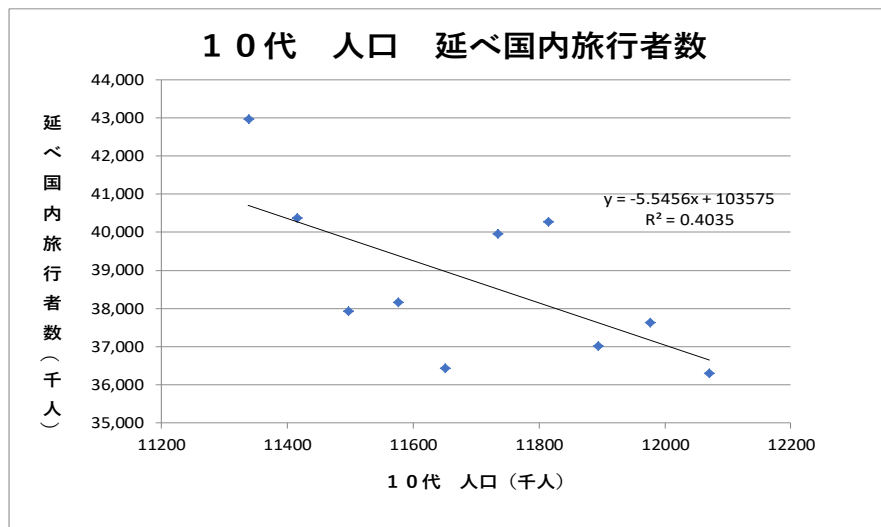
(表4-3)
10代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

傾き	-5.5456
予測変数(2045年 人口推計)	8,487
切片	103,575
目的変数(延べ旅行者数)	56,508

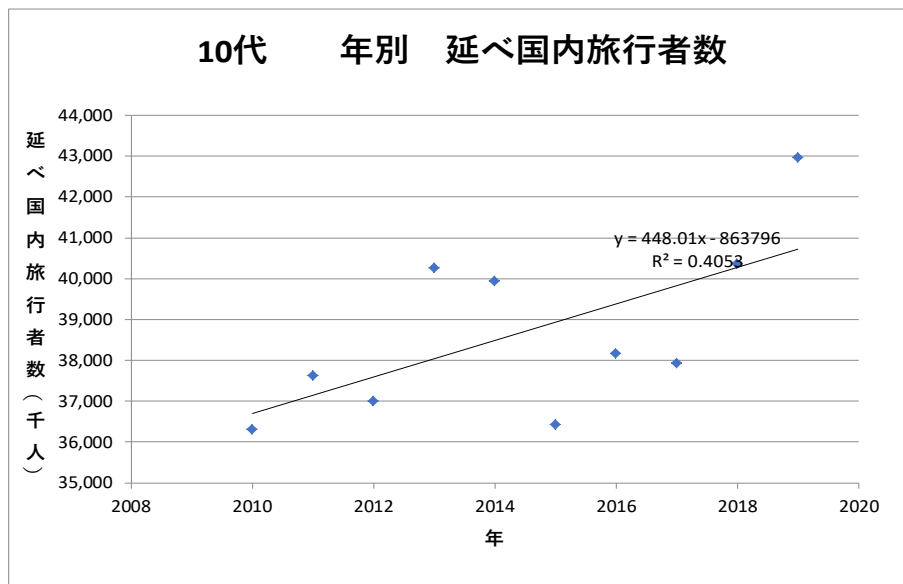
筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図2-1)



(図2-2)



(表5-1)
20代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

	人口推計	延べ旅行者数
2010	14,328	76,670
2011	14,028	69,115
2012	13,721	68,138
2013	13,420	67,116
2014	13,140	68,617
2015	12,895	71,974
2016	12,698	72,494
2017	12,533	69,441
2018	12,394	62,722
2019	12,268	72,203

(表5-2)
20代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
-2,060	-4.467	-14.4%	-5.8%

筆者作成(2022)

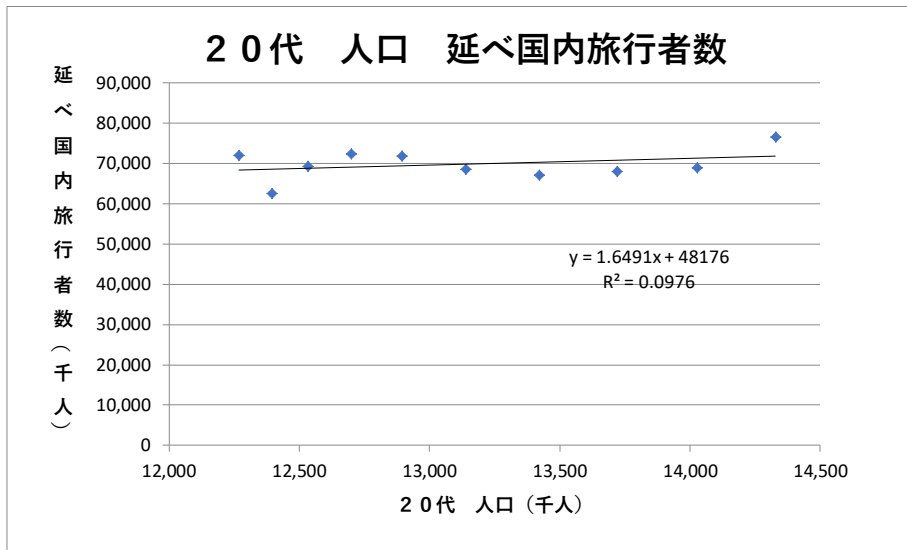
(表5-3)
20代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

傾き	1.6491
予測変数(2045年 人口推計)	9,364
切片	48,176
目的変数(延べ旅行者数)	63,619

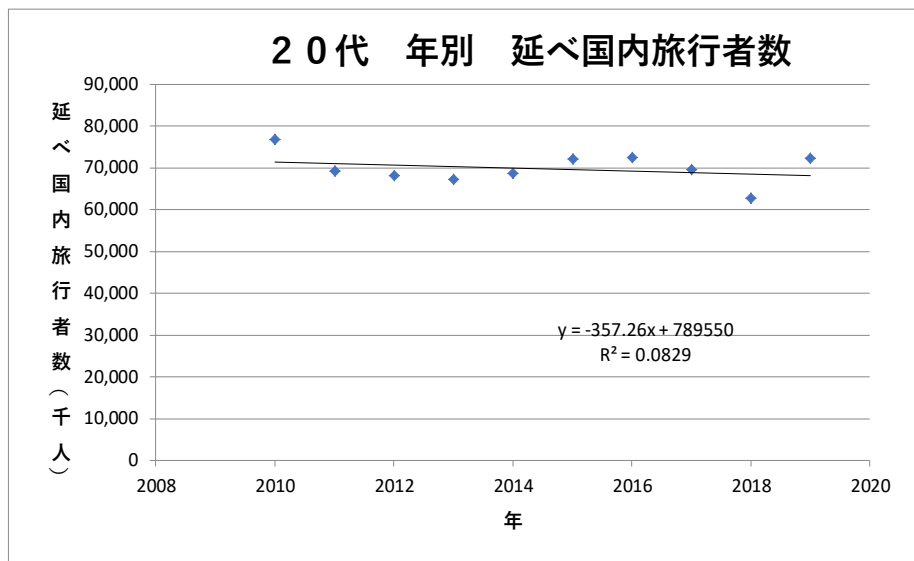
筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図3-1)



(図3-2)



(表6-1)
30代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	18,498	112,919
2011	18,122	102,950
2012	17,640	99,945
2013	17,098	92,280
2014	16,566	84,375
2015	16,089	89,396
2016	15,678	92,933
2017	15,337	98,324
2018	15,048	68,553
2019	14,763	80,861

(表6-2)
30代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
-3,735	-32.05%	-20.2%	-28.4%

筆者作成(2022)

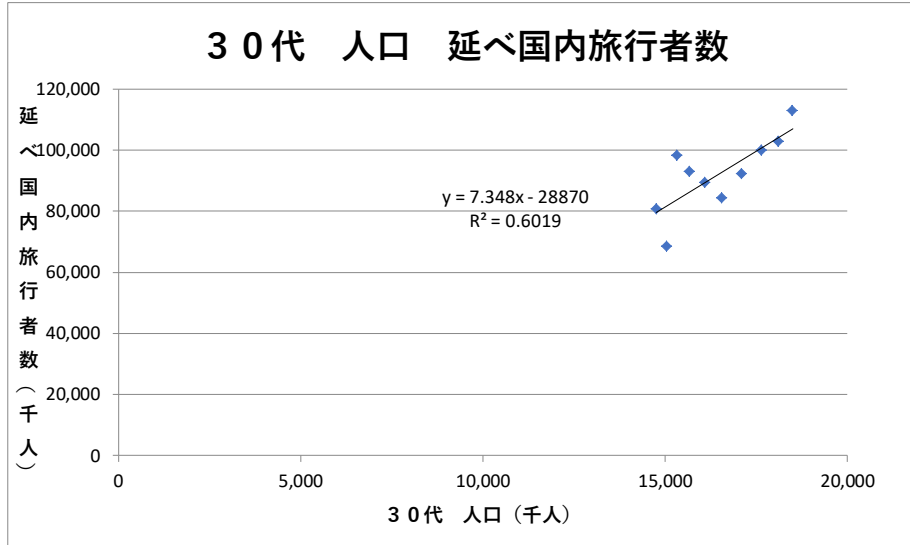
(表6-3)
30代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

傾き	7,3480
予測変数(2045年 人口推計)	11,232
切片	-28,870
目的変数(延べ旅行者数)	53,660

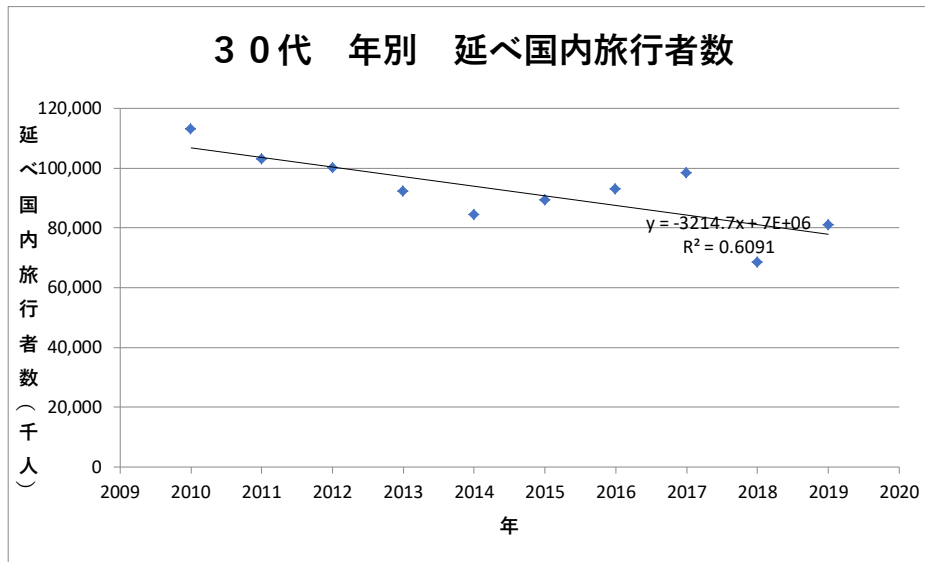
筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図4-1)



(図4-2)



(表7-1)
40代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	16,816	98,494
2011	17,204	100,335
2012	17,654	104,086
2013	18,110	106,686
2014	18,498	102,631
2015	18,768	102,501
2016	18,934	112,011
2017	18,990	109,692
2018	18,928	91,809
2019	18,754	95,248

(表7-2)
40代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
1,938	-3.24%	11.5%	-3.3%

筆者作成(2022)

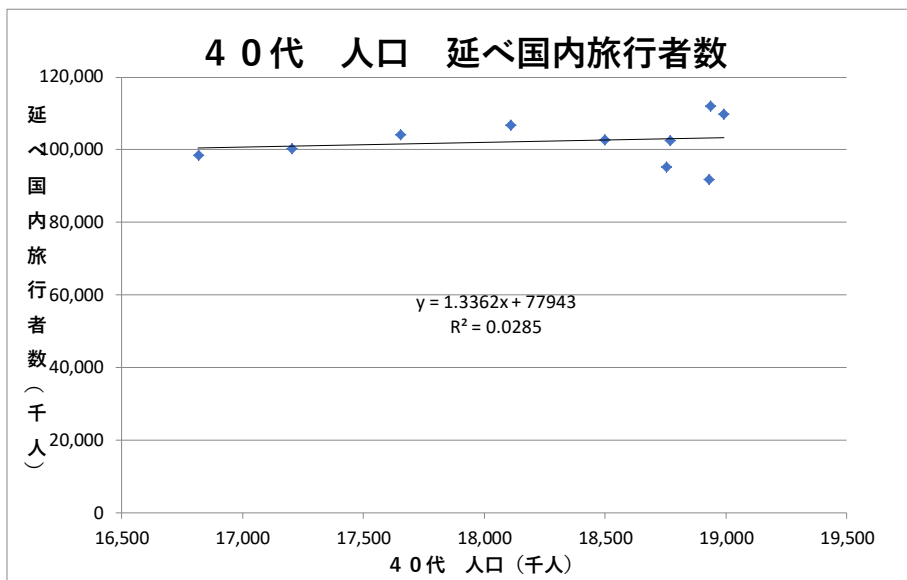
(表7-3)
40代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

極値	1,3362
予測変数(2045年 人口推計)	11,804
切片	77,943
目的変数(延べ旅行者数)	93,715

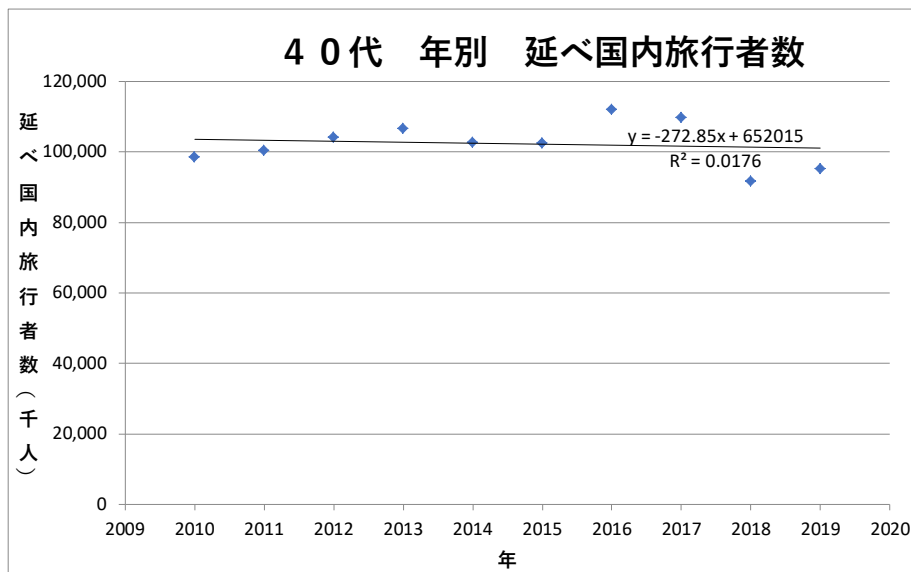
筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図5-1)



(図5-2)



(表8-1)
50代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	16,674	92,814
2011	16,275	87,396
2012	15,985	91,637
2013	15,797	93,938
2014	15,690	94,232
2015	15,651	98,371
2016	15,683	98,284
2017	15,790	102,738
2018	15,970	92,642
2019	16,224	90,336

(表8-2)
50代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
-450	-2.47%	-2.7%	-2.7%

筆者作成(2022)

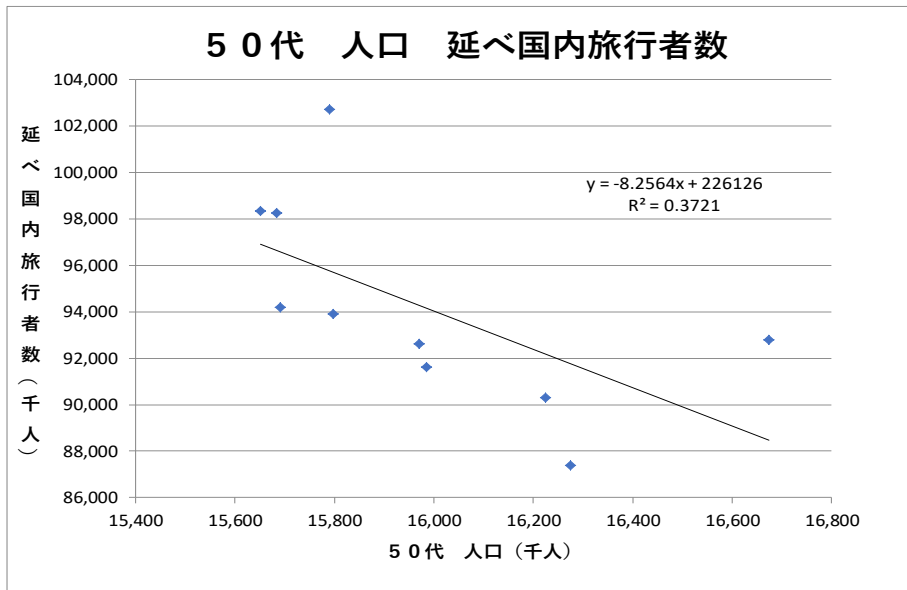
(表8-3)
50代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

傾き	-8,2564
予測変数(2045年 人口推計)	12,826
切片	226,126
目的変数(延べ旅行者数)	120,231

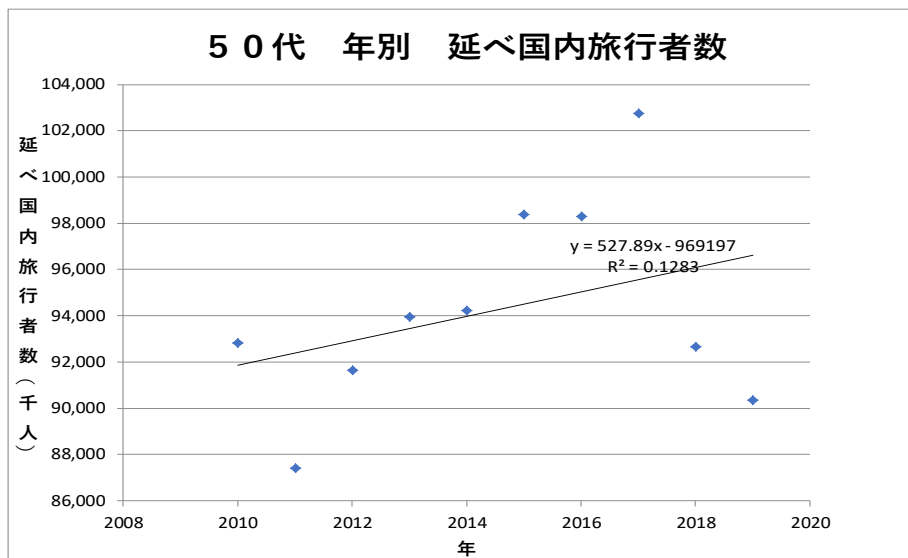
筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図6-1)



(図6-2)



(表9-1)
60代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	18,205	104,080
2011	18,438	92,492
2012	18,585	93,518
2013	18,623	103,753
2014	18,533	86,901
2015	18,304	87,664
2016	17,925	96,691
2017	17,421	98,141
2018	16,854	83,078
2019	16,318	79,953

(表9-2)
60代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
-1,887	-24.12%	-10.4%	-23.2%

筆者作成(2022)

(表9-3)
60代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

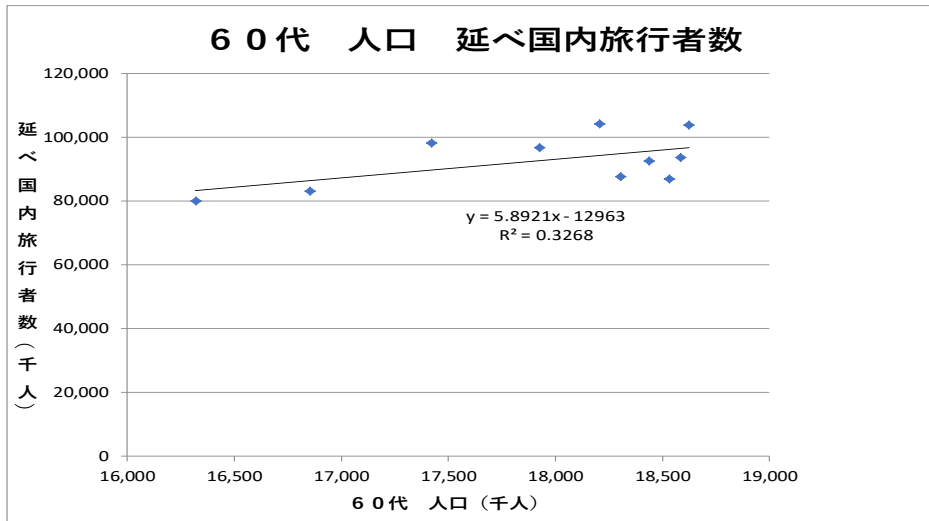
頂き	5,8921
予測変数(2045年 人口推計)	15,304
切片	-12,963
目的変数(延べ旅行者数)	77,208

筆者作成(2022)

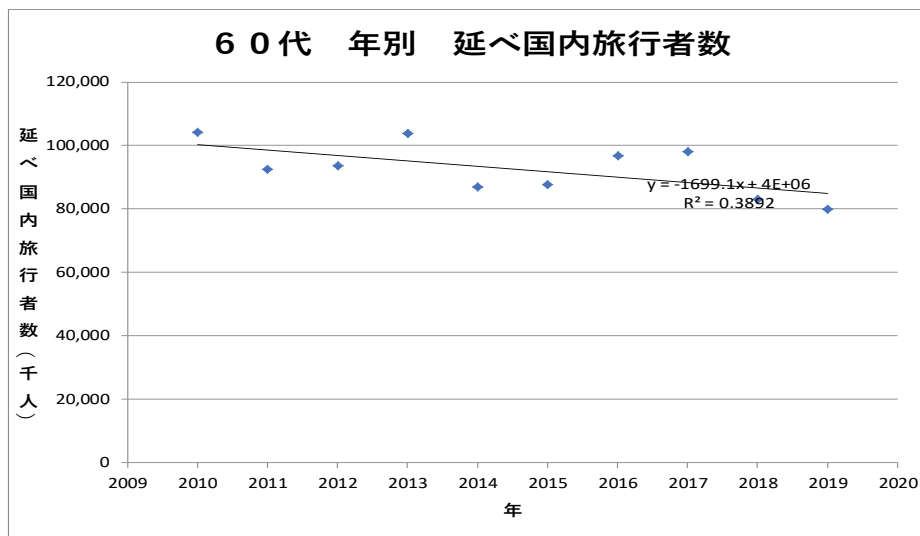
出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図7-1)



(図7-2)



(表10-1)
70代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	12,761	50,075
2011	12,924	52,866
2012	13,097	52,920
2013	13,305	58,993
2014	13,587	57,778
2015	13,963	54,027
2016	14,353	59,918
2017	14,833	63,020
2018	15,346	55,372
2019	15,814	57,499

(表10-2)
70代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
3,053	7.424%	23.9%	14.8%

筆者作成(2022)

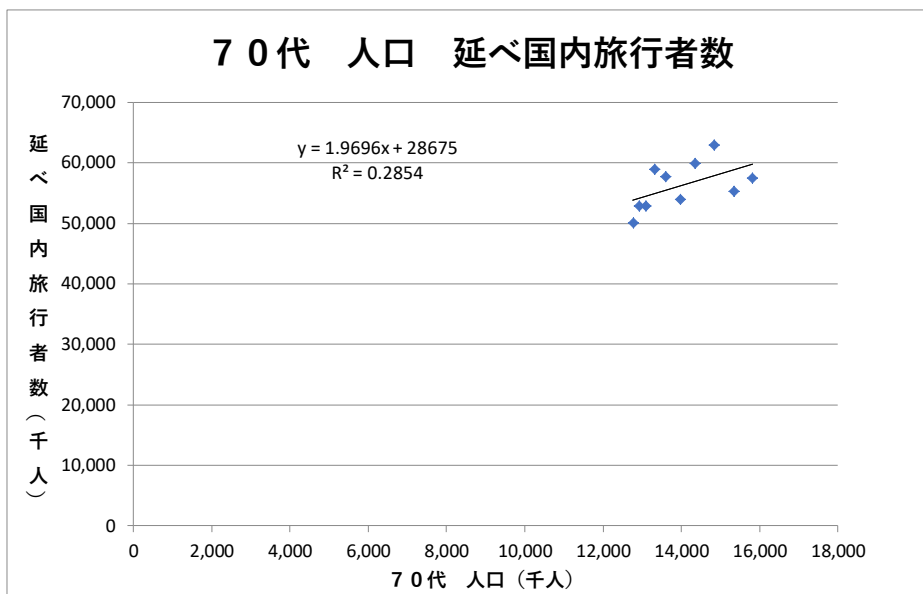
(表10-3)
70代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

極き	1,9696
予測変数(2045年 人口推計)	16,404
切片	28,675
目的変数(延べ旅行者数)	60,983

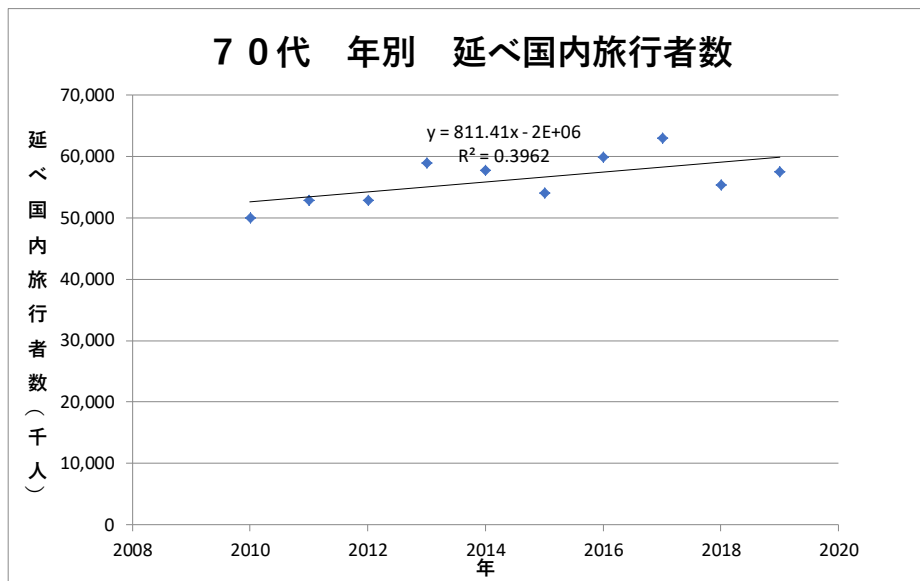
筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図8-1)



(図8-2)



(表11-1)
80代 人口推計-延べ国内旅行者数 (単位:1,000)

年	人口推計	延べ旅行者数
2010	7,971	14,958
2011	8,343	18,950
2012	8,697	14,245
2013	9,042	17,204
2014	9,377	14,252
2015	9,710	16,444
2016	10,058	20,099
2017	10,385	21,164
2018	10,701	17,427
2019	11,019	20,306

(表11-2)
80代 2010年-2019年の人口増減

人口増減	人口増減率	人口増減率	延べ旅行者増減率
3,048	5.348	38.2%	35.8%

筆者作成(2022)

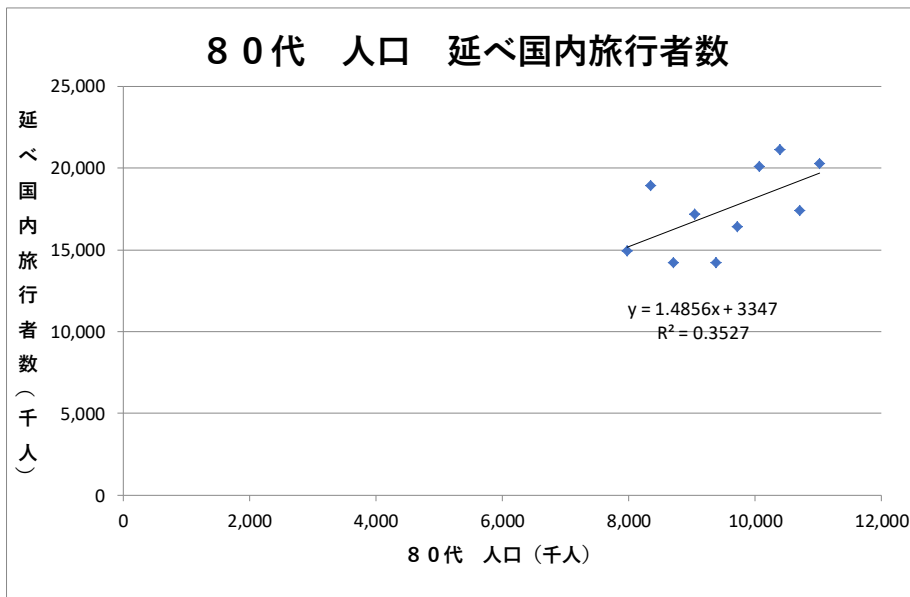
(表11-3)
80代 2045年 延べ旅行者数 (単位:千人)

傾き	1.4856
予測変数(2045年 人口推計)	15,817
切片	3,347
目的変数(延べ旅行者数)	26,845

筆者作成(2022)

出典:World Population Prospects 2019 データ抜粋
国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

(図9-1)



(図9-2)

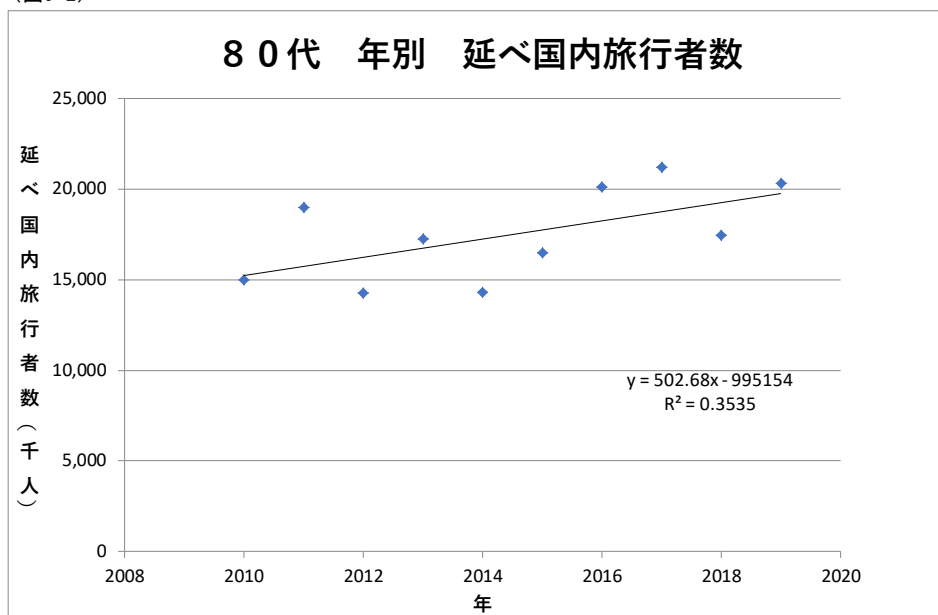


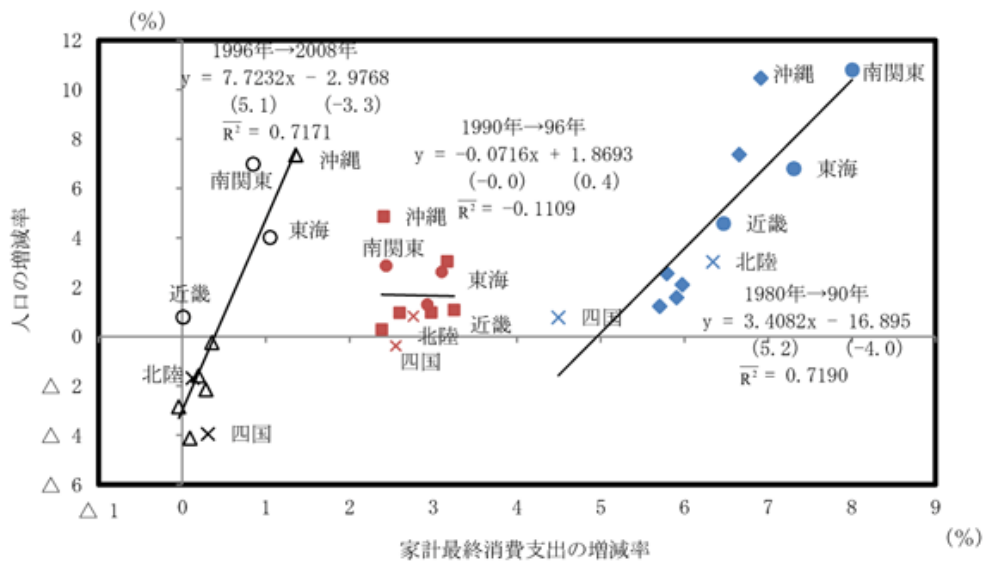
表12

単回帰分析により導出した各年代別の回帰式に基づく2045年の延べ旅行者数(千人)

	延べ旅行者数
9歳以下	46,821
10代	63,619
20代	63,619
30代	53,660
40代	93,715
50代	120,231
60代	77,208
70代	60,983
80代以上	26,845
全年代	606,701

筆者作成(2022)

図10 地域別人口増減率と家計最終消費支出との相関性



(出典)

内閣府 HP 経済財政政策 白書等(経済財政白書、世界経済の潮流等) 地域の経済 2011 第3章 第3節 消費の推移と高齢化

(備考)

内閣府「県民経済計算」、総務省「国勢調査」、「人口推計」より作成。

家計最終消費支出は年度の値、人口は10月1日現在人口。

県民経済計算は90年までが68SNA・平成2年基準、90~96年が93SNA・平成7年基準、96年以降が93SNA・平成12年基準を使用。

括弧内はt値。地域区分はA。

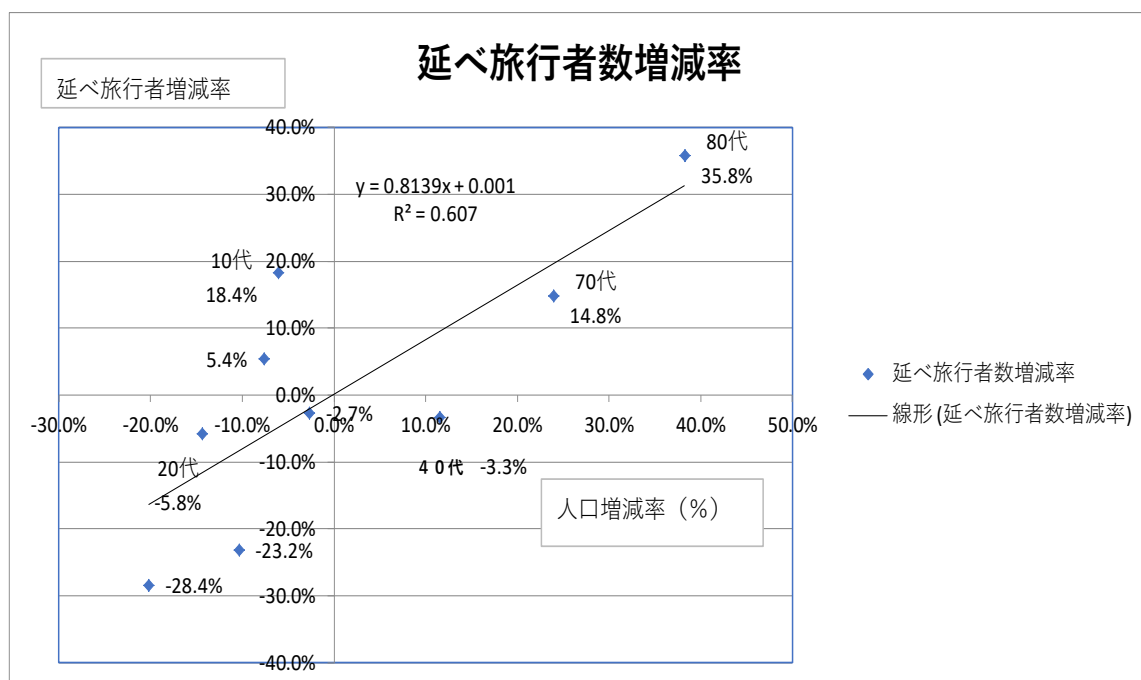
表 13

2010年—2019年 人口増減率と延べ国内旅行者増減率

	人口増減率	延べ旅行者数増減率
9歳以下	-7.6%	5.4%
10代	-6.1%	18.4%
20代	-14.4%	-5.8%
30代	-20.2%	-28.4%
40代	11.5%	-3.3%
50代	-2.7%	-2.7%
60代	-10.4%	-23.2%
70代	23.9%	14.8%
80代	38.2%	35.8%

筆者作成(2022)

(図 1 1)



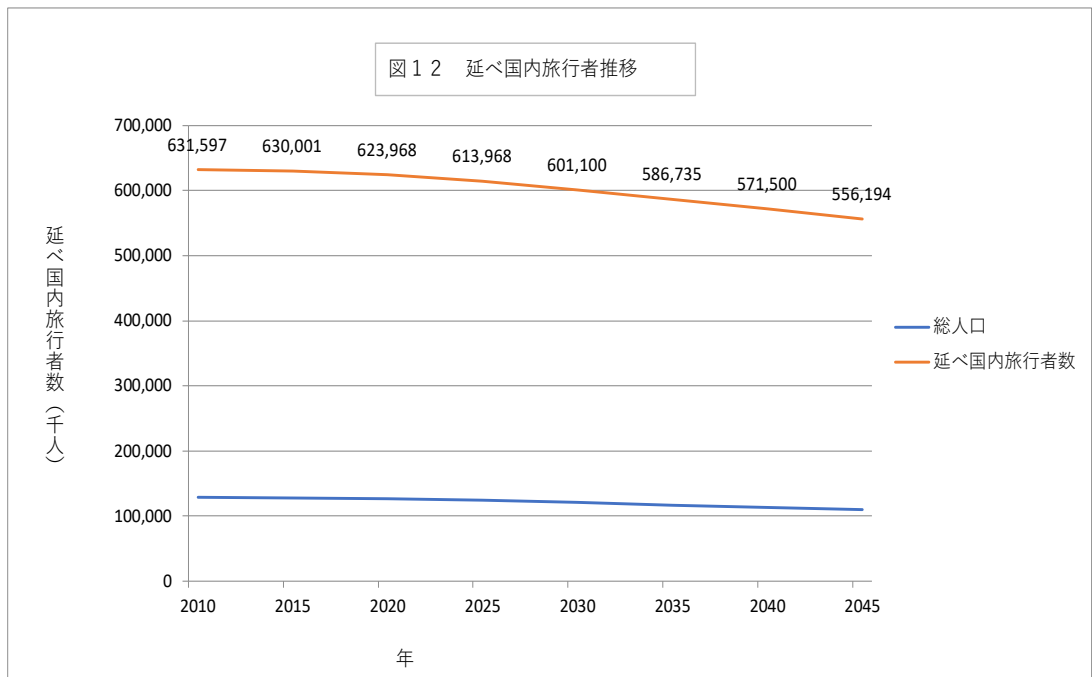
筆者作成 (2022)

表 14
 3)

延べ旅行者数の推移予想 (単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	推定延べ旅行者増減率	延べ国内旅行者数
2010	128,542	—	—	—	631,597
2015	127,985	-557	-0.4%	-0.25%	630,001
2020	126,476	-2,066	-1.6%	-1.21%	623,968
2025	123,976	-4,566	-3.6%	-2.79%	613,968
2030	120,758	-7,784	-6.1%	-4.83%	601,100
2035	117,166	-11,376	-8.8%	-7.10%	586,735
2040	113,356	-15,186	-11.8%	-9.52%	571,500
2045	109,529	-19,013	-14.8%	-11.94%	556,194

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋
 国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋
 筆者作成(2022)



(筆者作成 2022)

表 15

9歳以下

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	11,219	—	—	—	45,274
2015	10,955	-264	-2.4%	-1.82%	44,452
2020	10,180	-1,039	-9.3%	-7.44%	41,907
2025	9,187	-2,032	-18.1%	-14.64%	38,645
2030	8,648	-2,571	-22.9%	-18.55%	36,876
2035	8,451	-2,768	-24.7%	-19.98%	36,227
2040	8,385	-2,834	-25.3%	-20.46%	36,011
2045	8,292	-2,927	-26.1%	-21.13%	35,706

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 16

10代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	12,070	—	—	—	36,313
2015	11,650	-420	-3.5%	-2.73%	35,321
2020	11,267	-803	-6.7%	-5.31%	34,383
2025	11,000	-1,070	-8.9%	-7.11%	33,730
2030	10,215	-1,855	-15.4%	-12.41%	31,808
2035	9,221	-2,849	-23.6%	-19.11%	29,374
2040	8,684	-3,386	-28.1%	-22.73%	28,058
2045	8,487	-3,583	-29.7%	-24.06%	27,577

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 17

20代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	14,328	—	—	—	76,670
2015	12,895	-1,433	-10.0%	-8.04%	70,506
2020	12,147	-2,181	-15.2%	-12.29%	67,249
2025	11,726	-2,602	-18.2%	-14.68%	65,413
2030	11,382	-2,946	-20.6%	-16.63%	63,918
2035	11,134	-3,194	-22.3%	-18.04%	62,835
2040	10,355	-3,973	-27.7%	-22.47%	59,442
2045	9,364	-4,964	-34.6%	-28.10%	55,128

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 18

30代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	18,498	—	—	—	112,919
2015	16,089	-2,409	-13.0%	-10.50%	101,063
2020	14,455	-4,043	-21.9%	-17.69%	92,947
2025	13,024	-5,474	-29.6%	-23.99%	85,833
2030	12,217	-6,281	-34.0%	-27.54%	81,825
2035	11,812	-6,686	-36.1%	-29.32%	79,814
2040	11,476	-7,022	-38.0%	-30.79%	78,147
2045	11,232	-7,266	-39.3%	-31.87%	76,930

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 19

40代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	16,816	—	—	—	98,494
2015	18,768	1,952	11.6%	9.55%	107,898
2020	18,473	1,657	9.9%	8.12%	106,492
2025	16,096	-720	-4.3%	-3.38%	95,160
2030	14,458	-2,358	-14.0%	-11.31%	87,353
2035	12,993	-3,823	-22.7%	-18.40%	80,368
2040	12,200	-4,616	-27.4%	-22.24%	76,589
2045	11,804	-5,012	-29.8%	-24.16%	74,700

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 20

50代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	16,674	—	—	—	92,814
2015	15,651	-1,023	-6.1%	-4.89%	88,272
2020	16,542	-132	-0.8%	-0.55%	92,307
2025	18,482	1,808	10.8%	8.93%	101,098
2030	18,178	1,504	9.0%	7.44%	99,720
2035	15,844	-830	-5.0%	-3.95%	89,147
2040	14,252	-2,422	-14.5%	-11.72%	81,935
2045	12,826	-3,848	-23.1%	-18.68%	75,473

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 21

60代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	18,205	—	—	—	104,080
2015	18,304	99	0.5%	0.54%	104,645
2020	15,875	-2,330	-12.8%	-10.32%	93,343
2025	14,980	-3,225	-17.7%	-14.32%	89,179
2030	15,870	-2,335	-12.8%	-10.34%	93,319
2035	17,769	-436	-2.4%	-1.85%	102,156
2040	17,504	-701	-3.9%	-3.03%	100,921
2045	15,304	-2,901	-15.9%	-12.87%	90,684

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 22

70代

延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	12,761	—	—	—	50,075
2015	13,963	1,202	9.4%	7.77%	53,964
2020	16,185	3,424	26.8%	21.94%	61,062
2025	16,386	3,625	28.4%	23.22%	61,702
2030	14,318	1,557	12.2%	10.03%	55,099
2035	13,632	871	6.8%	5.65%	52,906
2040	14,549	1,788	14.0%	11.51%	55,837
2045	16,404	3,643	28.5%	23.33%	61,759

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年~2019年 1~12月期 集計表(確報) データ抜粋

筆者作成(2022)

表 23

80歳以降以上
延べ国内旅行者数推移

(単位:1,000)

年	総人口	人口増減	人口増減率	延べ旅行者増減率	推定延べ国内旅行者数
2010	7,971	—	—	—	14,958
2015	9,710	1,739	21.8%	17.86%	17,629
2020	11,351	3,380	42.4%	34.62%	20,136
2025	13,095	5,124	64.3%	52.42%	22,799
2030	15,471	7,500	94.1%	76.68%	26,427
2035	16,310	8,339	104.6%	85.25%	27,709
2040	15,950	7,979	100.1%	81.58%	27,160
2045	15,817	7,846	98.4%	80.21%	26,957

出典: World Population Prospects 2019 データ抜粋

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋
筆者作成(2022)

表 24

延べ国内旅行者数推移

(単位:1000)

	2045年
9歳以下	35,706
10代	27,577
20代	55,128
30代	76,930
40代	74,700
50代	75,473
60代	90,684
70代	61,759
80歳以上	26,957
全年代	524,912

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ活用
筆者作成(2022)

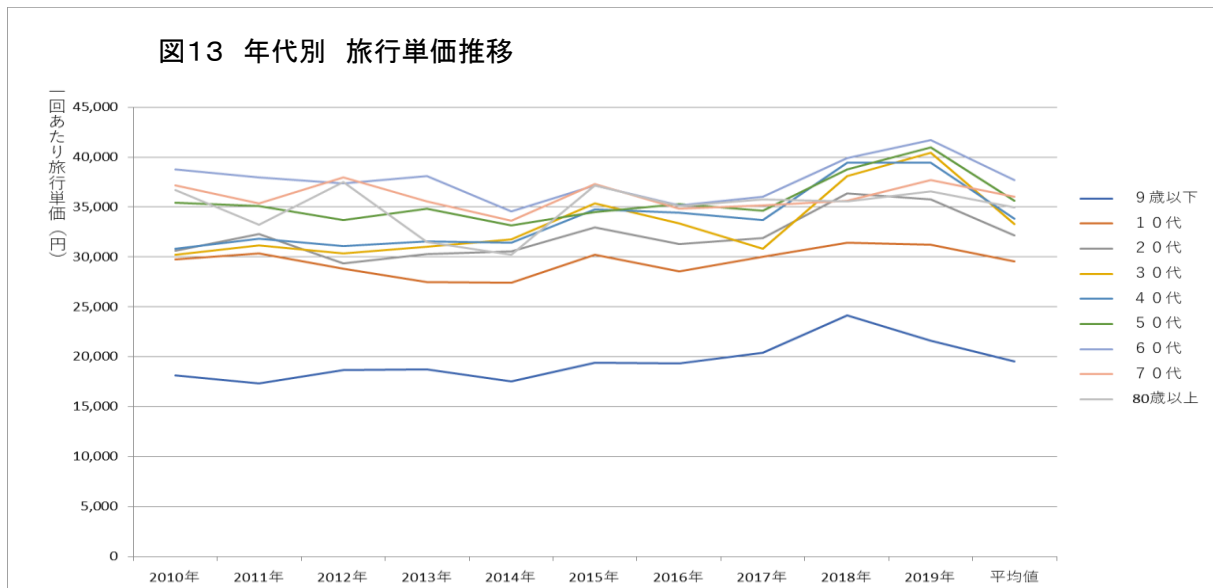
表 25

1回あたり旅行単価(年代別)

(単位:円)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	平均値
9歳以下	18,130	17,319	18,681	18,743	17,561	19,387	19,353	20,413	24,160	21,638	19,539
10代	29,789	30,385	28,823	27,462	27,395	30,219	28,533	30,023	31,421	31,236	29,529
20代	30,653	32,288	29,366	30,314	30,586	32,958	31,282	31,906	36,365	35,769	32,149
30代	30,212	31,162	30,390	31,048	31,774	35,370	33,353	30,833	38,083	40,413	33,264
40代	30,802	31,853	31,087	31,548	31,421	34,744	34,449	33,687	39,445	39,453	33,849
50代	35,427	35,092	33,669	34,800	33,185	34,531	35,307	34,652	38,759	40,971	35,639
60代	38,791	37,954	37,375	38,120	34,574	37,173	35,146	36,031	39,910	41,715	37,679
70代	37,197	35,394	37,940	35,577	33,822	37,332	34,859	35,182	35,611	37,726	36,044
80歳以上	36,717	33,223	37,510	31,519	30,232	37,178	35,100	35,800	35,589	36,556	34,942

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ抜粋
筆者作成(2022)



筆者作成(2022)

表 26

2045年 年代別 旅行・観光消費額 (単位:1000)

	2045年 延べ国内旅行者数推移	旅行単価平均値	旅行・観光消費額
9歳以下	35,706	19,539	697,637,079
10代	27,577	29,529	814,298,604
20代	55,128	32,149	1,772,302,769
30代	76,930	33,264	2,558,984,356
40代	74,700	33,849	2,528,496,552
50代	75,473	35,639	2,689,789,659
60代	90,684	37,679	3,416,865,767
70代	61,759	36,044	2,226,025,771
80歳以上	26,957	34,942	941,926,797
全年代	524,912	32,515	17,646,327,354

国土交通省観光庁 旅行・観光消費動向調査 2010年～2019年 1～12月期 集計表(確報) データ活用
筆者作成(2022)

※旅行単価平均値は2010年～2019年までの各年代の1回あたり旅行単価平均値。

筆者作成(2022)